

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名（公財）セラミックパーク美濃負担金

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3094)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 7,094 千円 （現計予算額： 23,817 千円）
（運営費負担金）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	23,817	0	0	1,990	1,106	0	0	0	20,721
補 正 要求額	7,094	0	0	0	0	0	0	0	7,094
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

公益財団法人セラミックパーク美濃（以下財団という）では例年年度末に電力、ガスの入札契約を実施しているが、今年度においてはウクライナ情勢等から原油が高騰しているため、電力の入札を行ったところ不落となり、現在は中部電力パワーグリッドと随意契約をしている。またガスにおいても電力と同様に単価が高騰し例年以上の単価で契約しているところである。

このため、12月補正において光熱費を要求するものである。

（2）事業内容

美濃焼産業・陶磁器文化の振興を目的に、平成14年にオープンした拠点施設「セラミックパークMINO」の維持管理・運営及び地域・産業の振興事業を推進するため、同施設の指定管理者である（公財）セラミックパーク美濃に対し、維持管理、運営経費を負担金として拠出する。

■ 指定管理者の状況

- 指定管理者：(公財) セラミックパーク美濃 (理事長：古川雅典／多治見市長)
- 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日
- 基本財産：10,000千円 (出捐比率) 岐阜県33.0%、多治見市34.0%、土岐市6.27%、瑞浪市3.93%、多治見市商工会議所16.25%、土岐商工会議所3.0%、瑞浪商工会議所1.87%、笠原町商工会 0.54%
- 業務内容：「セラミックパークMINO」の現代陶芸美術館部分を除いた施設の管理運営及び財団事業 (自主企画事業、催事誘致、貸館事業等) を行う。
- 経緯
 - H10.4.30：「(仮称) 財団法人国際陶磁器テーマパーク設立準備委員会」が発足
 - H11.3.29：「財団法人セラミックパーク美濃」設立
 - H11年度～：出捐比率に応じた財団運営費を負担
 - H14.10.12：セラミックパークMINOオープン
 - H18.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(財) セラミックパーク美濃を指定(3年間)
 - H21.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(財) セラミックパーク美濃を指定(3年間)
 - H24.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(財) セラミックパーク美濃を指定(3年間)
 - H25.4.1：(財) セラミックパーク美濃が公益財団法人へ移行
 - H27.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(公財) セラミックパーク美濃を指定(3年間)
 - H30.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(公財) セラミックパーク美濃を指定(3年間)
 - R3.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(公財) セラミックパーク美濃を指定(5年間)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
その他	7,094	運営負担金
合計	7,094	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3] 海外展開・販路拡大支援プロジェクト

(2) 国内におけるビジネスチャンスの提供

(2) 後年度の財政負担

セラミックパークの施設運営等に要する必要最低限の経費のため毎年同額程度の経費負担が発生する見込み。

(4) 事業主体及びその妥当性

美濃焼産業の中心地である東美濃地域（多治見市、瑞浪市、土岐市）が当該事業をけん引しているが、美濃焼産業の振興は県の重要な施策でもあり、事業主体の一員として支援することは妥当である。

事業評価調書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国的にも珍しい陶磁器産業と文化の融合施設であるセラミックパークMINOを活用し、美濃焼はもとより、美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、岐阜県の産業、文化振興を目指します。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①来館者数 (単位:人)		83,962	290,000	170,000		

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>(1)施設の維持管理 設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施してきた。</p> <p>(2)施設の運営・催事誘致活動 貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。</p> <p>[来館者数の推移 (現代陶芸美術館含む)] H25年度 276,855人 H26年度 371,154人 H27年度 247,831人 H28年度 223,993人 H29年度 250,259人 H30年度 249,991人 R元年度 184,556人 R2年度83,962人 ※H26, H29は国際陶磁器フェスティバルの開催年</p>
	令和3年度
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標: _____ 実績: _____ 達成率: _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	セラミックパークMINOは、平成18年度より指定管理者制度を導入しており、現在、公益財団法人セラミックパーク美濃を令和7年度末まで指定管理者として指定している。施設の維持管理及び自主企画事業を実施するためには、指定管理者へ負担金を拠出する必要がある。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	公益財団法人セラミックパーク美濃は、施設の維持管理・運営を目的として平成11年度に設立され、平成14年度の施設会館以降委託業務受託者、指定管理者(平成18年度～)として、施設の維持管理、運営(施設及び付属施設設備の使用許可並びに利用料金の收受を含む)等を適切に行っている。 セラミックパークMINO指定管理者評価員会議においても、業務を適切に行っているとの評価を得ている。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	施設の維持管理経費は、本県と地元3市が一定割合に応じて負担しており県と地元自治体が密接に連携できている。また、行政負担金も指定管理制度導入以来、経費の見直し等により大幅に圧縮している。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入、長引く不況による消費力の減退など極めて厳しい状況下にあるため、陶磁器文化・産業振興の拠点であるセラミックパークMINOの魅力を、より一層高めていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか セラミックパークMINO(岐阜県現代陶芸美術館含む)は、美濃焼をテーマに産業・文化振興の拠点として重要な役割を果たしている。今後も地元3市と連携し、本県を代表する地場産業であり、かつ地元の基幹産業でもある美濃焼産業を振興するべく、施設を効果的に維持管理していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	